

平成29年度 学校評価に関わるアンケート集計結果

平成30年1月17日
宮城県中新田高等学校

1 アンケート調査期日と回収率

対象者	実施日	回収率
生徒	12月1日(金) 8:40～	93% (310/334人中)
保護者	11月22日(水)～12月1日(金)	83% (286/334人中)
教職員	11月22日(水)～12月1日(金)	100% (31/31人中)

2 結果詳細

<資料1>平成29年度 学校評価アンケートの実現度グラフ (生徒・保護者・教職員)

<資料2>平成29年度「重要度」「実現度」「ニーズ度」一覧 (生徒・保護者・教職員)

3 共通項目結果一覧 (実現度)

(数字は肯定的評価の値 単位%)

	項目	生徒		保護者		教職員	
		H28	H29	H28	H29	H28	H29
1	進路に応じた教育課程編成	77	83	78	86	89	77
2	意欲を引き出す授業	57	66	67	72	78	81
3	家庭学習の定着	19	33	37	40	41	29
4	充実した朝読書の推進	76	82	63	68	89	84
5	生活指導の方針明確	67	72	71	78	85	84
6	基本的な生活習慣の指導	76	78	71	83	85	87
7	進路目標の明確化	71	78	69	76	89	90
8	進路情報の提供	69	80	62	74	74	87
9	進路ノートを活用	68	63	56	67	33	52
10	教育相談体制	73	77	62	69	89	90
11	部活動が活発	73	78	67	78	68	68
12	部活動の休養日設定	73	72	65	78	63	68
13	生徒会活動が活発	70	75	74	79	78	71
14	有意義な学校行事	63	65	71	79	93	100
15	特色ある学校づくり	67	76	72	78	81	77
16	災害時の避難・連絡	77	86	73	85	93	90
17	学校の情報提供	76	77	66	74	93	94
18	PTA・学校行事の連絡	66	71	58	61	48	55
19	校舎等の施設設備	58	64	64	73	85	81
20	清掃等学習しやすい環境	70	71	75	80	88	87
21	いじめの早期発見	57	59	61	69	89	94
22	学校生活の充実度	62	68	71	82		
	平均	66.6	71.5	66.0	74.0	77.0	78.3

4 共通項目概況

今年度の学校評価に関するアンケートは、昨年度と同じ項目で実施した。具体的項目での昨年度と今年度の経年比較を実施した。

(1) 生徒アンケート

肯定的評価の平均は71.5%（前年比+4.9ポイント）と全体的に評価が高くなった。その中で肯定的評価が70%以上の項目は、22項目中14項目（昨年比+3）であった。

中でも「進路に応じた教育課程の編成」、「充実した朝読書の推進」、「進路情報の提供」、「災害時の避難・連絡」の4項目で肯定的評価80%を超えている。また、肯定的評価が65%未満は4項目（前年比-2）であり、そのうち60%未満は、「家庭学習の定着」、「いじめの早期発見」であるが、いずれも昨年度より高まっている。特に「家庭学習の定着」の評価は33%と昨年より14ポイント高まった。（H23は16、H24は19、H25は27、H27は32、H28は19）

なお、前年度と比べて大きく変動した項目は、「進路情報の提供」（+11）、「意欲を引き出す授業」（+9）、「特色ある学校づくり」（+9）、「災害時の避難・連絡」（+9）であった。

(2) 保護者アンケート

肯定的評価の平均は76.1%（前年比+10.1ポイント）と大きく数値が上がった。その中で肯定的評価が70%以上の項目は16項目（前年比+7）となった。80%を超えた項目は「進路に応じた教育課程の編成」、「基本的生活習慣の指導」、「災害時の避難・連絡」、「清掃等学習しやすい環境」、「学校生活の充実度」の5項目であった。

また、肯定的評価が65%未満は2項目であり、特に「家庭学習の定着」の評価が40%（昨年比+3ポイント）と生徒アンケートと同様に低い評価となっている。

なお、前年度と比べて大きく変動した項目は、「部活動の休養日設定」（+13）、「進路情報の提供」（+12）、「災害時の避難・連絡」（+12）、「進路ノートの活用」（+11）、「学校生活の充実度」（+11）、「校舎の施設設備」（+9）であった。

(3) 教職員アンケート

肯定的評価の平均は78.3%（前年比+1.3ポイント）であった。肯定的評価が70%以上の項目は、21項目中16項目（前年比±0）であった。その中でも「基本的生活習慣の指導」、「進路目標の明確化」、「進路情報の提供」、「教育相談体制」、「有意義な学校行事」、「災害時の避難・連絡」、「学校の情報提供」、「清掃等学習しやすい環境」、「いじめの早期発見」の9項目が85%を超えた。

また、肯定的評価が70%未満の項目は、5項目（前年比±0）であり、その中でも60%未満は「家庭学習の定着」、「進路ノートの活用」、「PTA・学校行事の連絡」である。評価項目中「家庭学習の定着」が29%と特に低い評価となった。

なお、前年度と比べ特に大きな変動があった項目で、「清掃等学習しやすい環境」が13ポイント上昇した。また、反対に10ポイント以上マイナスに転じた項目は、「家庭学習の定着」が（-12）、「進路に応じた教育課程編成」が（-11）であった。

5 ニーズ度算出からのまとめ

(1) アンケートの実施について

今年度のアンケートも、昨年同様にそれぞれの項目に対して実現度だけでなく重要度も回答してもらった。重要度と実現度に関してはアンケート結果に対して次のような点数化を行い、各項目の「重要度」「実現度」「ニーズ度」を算出した。

重要度	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない
点数	7	5	3	1

点数の和 ÷ 有効回答数 = 重要度

実現度	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
点数	7	5	3	1

点数の和 ÷ 有効回答数 = 実現度 重要度 × (8 - 実現度) = ニーズ度

「ニーズ度」は、重要度が高くて実現度が低いと高くなる。「ニーズ度」が高い項目は、学校の課題と見なすことが出来る。

(2) 「生徒」「保護者」「教職員」アンケートの三者比較概要 ※ () 内は28年度の値

	重要度平均値	実現度平均値	ニーズ度平均値
生徒	5.67 (5.30)	4.60 (4.28)	19.20 (19.66)
保護者	5.81 (5.35)	4.65 (4.21)	19.46 (20.28)
教職員	5.97 (5.91)	5.35 (4.75)	19.03 (19.09)

上記の表から、今年度のアンケート結果を見ると、生徒と保護者・教職員による重要度・実現度・ニーズ度の平均値がほぼ同程度であるが、それぞれ重要度・実現度の平均値が若干増加し、ニーズ度が若干減少した。今回のアンケート結果から、三者のニーズ度の数値の高い項目から課題の割り出しを試みた。

(3) 「ニーズ度」から見た注意すべき項目(上位7項目)

<生徒>		質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	
					29年度	28年度
3		私は、毎日、予習・復習等の家庭学習に取り組んでいる。	5.43	3.31	25.45	27.86
21		学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	5.68	4.06	22.41	22.44
2		学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.07	4.36	22.08	23.20
14		有意義な学校行事がある。	5.81	4.34	21.30	21.22
19		校舎やグラウンドなどの施設や設備は整理されている。	5.52	4.25	20.68	21.65
12		部活動の休養日は、生徒・顧問の負担軽減のために適切に設定されている。	5.91	4.66	19.74	21.65
1		本校では、生徒の進路希望に応じた教育課程が編成されている。	6.31	4.88	19.69	20.61
全平均			5.67	4.60	19.20	19.66

<保護者>		質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	
					29年度	28年度
3		お子さんは、毎日、家庭学習に取り組んでいる。	5.79	3.66	25.09	25.61
21		学校は、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	5.91	4.24	22.19	23.17
2		学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.24	4.50	21.83	22.01
8		進路希望に応じた必要な進路情報の提供は適切に行われている。	6.31	4.71	20.73	22.53
7		進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	6.34	4.75	20.61	20.71
18		PTA活動や学校行事などの連絡事項を保護者へいつも伝えている。	5.40	4.18	20.60	21.14
9		「進路ノート」を活用しLHRや総合の時間を使って効果的な進路指導が行われている。	5.72	4.42	20.49	21.62
全平均			5.82	4.65	19.46	20.28

(3) 「ニーズ度」から見た注意すべき項目(上位7項目)

<教職員>		質問項目	重要度	実現度	ニーズ度	
					29年度	28年度
9		「進路ノート」を活用しLHRや総合の時間を使って効果的な進路指導が行われている。	5.58	3.71	23.94	23.43
3		宿題指導の徹底などにより、家庭学習は定着している。	5.06	3.39	23.36	24.18
2		学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。	6.42	4.68	21.33	21.85
12		部活動の休養日は、生徒・顧問の負担軽減のために適切に設定している。	5.94	4.48	20.87	21.08
11		部活動は活発に行われている。	5.84	4.52	20.34	22.20
1		本校では、生徒の進路希望に応じた教育課程が編成されている。	6.23	4.74	20.28	19.11
5		部活動は活発に行われている。	6.29	4.81	20.09	19.82
全平均			5.97	5.35	19.03	19.09

・「家庭学習の定着」は、3年連続して三者ともニーズ度が高い項目であった。学習することの大切さは感じているものの、実際の家庭学習状況はなかなか改善されていない。根強い課題である。今年度は特にビジネス手帳の活用を重点的に行い、時間の管理を意識付けてきたが、なかなか徹底できず学習時間の増加までは至らなかった。学習意欲を掻き立てる具体的取り組みを保護者の協力を得ながら進めていかなければならない。

・「学ぶ意欲を引き出す授業」も、三者とも高い値となっている。学ぶ意欲を引き出し、基礎学力の定着、向上につながるわかりやすい授業を目標に各教員がそれぞれ工夫している。特に今年度は数学科と英語科で県教育委員会や大学の教官から指導いただく機会を持った。模試など少しずつではあるが学力の向上がみられている。今後、より一層研究を進め、生徒の意欲を高めていきたい。

・「**進路ノート**の活用」は、実際に使用している生徒及び保護者の評価は向上傾向ではあるが、教職員が大幅に前年比マイナスとなっている。タイムリーな進路指導を実現できるよう内容の見直しや活用法の研究が課題である。また、「**進路情報の提供**」についても、三者とも肯定的評価が60%台と低く、ニーズ度が高い。今年度は進路別ガイダンスを早め実施し、進路意識を高める工夫を図ってはいる。今後も時期に応じ進路情報をこまめに発信したり等効果的な進路指導の検討を継続したいと考える。

・「**いじめの早期発見**」は、安心した学校生活に欠かせない必要性の高い項目である。今年度も、いじめに関するアンケートを毎月実施し、その内容をもとにいじめが解決した事例もある。また、職員も日々の教育活動の中で生徒を注意深く観察し、いじめの早期発見・防止に取り組んでいる。昨年度より三者とも実現度が向上したが、まだまだニーズ度が高い。このことを真摯に受け止め、今以上に相談しやすい環境を作る等、いじめ撲滅に向けて注意を怠らず取り組んでいきたい。

・「**PTA・学校行事の連絡**」についても昨年に引き続き生徒・保護者・教職員とも低い評価でニーズ度が高まっている。今年度はできるだけタイムリーに情報発信できるよう「ホームページ」更新の校内体制を改め、また一斉メール配信もこまめに行ってきた。今後もスピーディーな情報発信と内容の充実に努めたいと考える。

・今年度全国的に話題になっている「**部活動の休養日設定**」についてであるが、本校でもニーズ度が高まっている。「**部活動が活発**」や「**家庭学習の定着**」のニーズ度の高さもありバランスが重要と考える。「文武両道」部活動、学習共に成果を上げられるよう校内で検討し指導を工夫していきたい。

6 考察

今年度の学校評価に関わるアンケート結果について共通項目結果一覧及びニーズ度算出結果より、本校が問題意識を持って取り組むべき課題は、次の点に集約されると考える。

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1) 毎日の家庭学習の習慣づけと時間管理の指導を通し、生徒の目標設定に繋げる2) 基礎学力の向上を図り、生徒の学ぶ意欲を引き出す授業の工夫3) 生徒が相談しやすい環境向上といじめ防止の周知徹底4) 「進路ノート」の活用と効果的な進路指導方策及び進路情報等内容・伝達法の工夫5) 部活動には適度に休養日を設け、心身ともに健康で文武両道のバランスのとれた生活習慣の確立 |
|--|

7 自由述欄より

今年度の自由記述では、「学校の行事予定や生活の様子を知らせる工夫について」、「進路指導の在り方について」、「部活動の活性化や見直しについて」、「女子の制服デザインについて」、「保護者送迎の旧テニスコートの改善について」、「体育館内の床やカーテンの改善について」など大変貴重なご意見をいただいた。

「体育館内の床とカーテンについて」は昨年から県に予算要求しており、床のワックスがけに関しては改善に向けて計画を立てている。その他のご意見についても校内で検討させていただき、改善に努めたいと思っている。今後も学校経営上のヒントとなる意見等大いにお願ひしたい。